

2004

「音戸アートスケープ Genius Loci: 2004」展

会期：2004年（平成16年）7月31日⇒8月29日

会場：音戸町（坪井・引地・鯉浜・北隠渡・南隠渡）

報告：和田拓治郎



和田拓治郎《私松》2004 鉄、ワイヤー



高橋佳江《present》2004 音戸町の方々の靴下 インスタレーション

開催概要

音戸町の町並みにふさわしい芸術作品を展示することにより、現代美術の楽しさを体感すると同時に、土地と鑑賞者と作品とが有機的につながる状況を生み出し、地域（場所）の意味（価値）を再認識することを目的とした。また、平成17年3月の呉市との合併を視野に入れ、あらためて地域の過去と現在を見つめ、未来を考えていく契機とした。

この展覧会では、17名の作家が自ら音戸を訪れ、展示場所を探し、その場所にふさわしい作品の制作、展示を行なった。展示場所は、潮待ち・風待ちで寄港した港界隈の繁栄が偲ばれる古い商家の店先や座敷、空家や廃屋、造り酒屋の一室などの16カ所である。

様々な音戸町の生活の場を舞台に、現地に住み込み制作した作品や、その場所のために制作された作品が展示され、無料で公開された。また、会期前には、オープニングに向けてのワークショップ（看板制作・パレード練習）、会期中にも2回の音楽コンサート（ミニコンサート／バイオリン・クロージングコンサート／笙）を実施した。

テレビ（6回）、ラジオ（2回）の取材・放送、新聞（7回）や地元の情報紙への記事掲載などの多くのマスコミ媒体に本展覧会を取りあげていただき、大変な支持と好評を得た。

来場者はNHK教育テレビ「新日曜美術館」の影響もあって、北は北海道、南は沖縄からと日本全国から、のべ約6,000人来場があった。

その他（今後の展望）

当初の目的を達成するにとどまらず、来場者数を含め予想以上の成果をあげることができた。今後は、合併先である呉市との協議の上、第二回開催に向けて勉強会などにより議論を重ね、より素晴らしい展覧会を発信するために、地域と一緒に努力していく所存である。

主催：音戸アートスケープ実行委員会 共催：音戸町、音戸町商工会、音戸町教育委員会、呉市、広島市立大学 後援：NHK広島放送局、（財）まちづくり市民財団、中国新聞社、中国放送、テレビ新広島、広島エフエム放送、広島テレビ、広島ホームテレビ 助成：エネルギー文化・スポーツ財団 協賛：ANDERSEN GROUP、オタフクソース株式会社、（財）泉美術館、SHISEDO、音戸の瀬戸 トラヤ旅館、ゆめタウン 技術協力：（有）ユニット・エムエスイー 提供：中国塗料株式会社 協力：呉市立美術館、広島市現代美術館 認定：（社）企業メセナ協議会

参加作家：伊東敏光、高橋佳江、岡平愛子、吉田樹人、中村圭、米倉大五郎、木村東吾、和田拓治郎、河野隆英、櫻井友子、長岡朋恵、榎原泰介、藤原勇輝、岡本敦生＋野田裕示、前川義春、加納士朗（17名）

Web：<http://www.artsite.jp/gl2004/notice.html>